

現象 04 ガスコンロの火がつかない・ガスの出が悪くなった

原因 バーナーキャップの目詰まりや立ち消え安全装置の汚れ、または点火装置の電池切れ



- ① ガスの出が悪くなった状態
原因の一つとしては、ふきこぼれ等を放置したために、バーナーキャップが目詰まりを起こしたと考えられます。
- ② 点火はするがすぐ消えてしまう状態
立ち消え安全装置の汚れが考えられます。
- ③ 火花が出ない場合は電池切れかもしれません。
- ④ 地震によってガスメーターが遮断される場合があります。

DIY バーナーキャップや立ち消え安全装置の清掃をする

DIY難易度

簡単



DIY作業時間

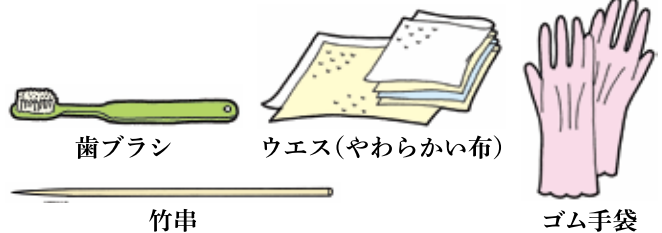
10～30分

用意するもの

DIYにかかる費用

0円

専門業者への作業依頼費用
(部品・材料費は除く) / 6,000円～



歯ブラシ

ウエス(やわらかい布)

竹串

ゴム手袋

手順

バーナーキャップ・立ち消え安全装置のお手入れ



01 バーナーキャップの部分についてはススを歯ブラシで、穴は竹串を使って掃除してください。



02 立ち消え安全装置部分は水に浸して固く絞ったやわらかい布で汚れを拭き取ってください。汚れがとれない場合は、歯ブラシで掃除してください。
※作業後は水気を完全に拭き取ってください。

Siセンサーコンロのお手入れ



01 センサー部の汚れを水拭きします。



02 こびりつきが落ちなかったら歯ブラシでこすります。

日頃のお手入れ

電池の交換時期の目安は、アルカリ乾電池(一般的な国産メーカー品)でSiセンサーの場合、1年程度です。

COLUMN

DIYを始める前に電池切れやガスの元栓が正常か確認しましょう。
地震によってガスメーターが遮断された場合は、知識編「ガスの復旧方法」(71ページ)を参考にしてガスメーターを復帰させてください。